

第38回全国少年少女躰道優勝大会

大会実施要項

本案で大会を実施する予定ですので、記載されている内容に沿った練習や予選大会実施の準備を進めて下さい。尚、「大会出場申込書の提出・出場費の納入・理事長推薦書の提出・選手変更の受付・弁当の予約」などの締切日を厳守の上、積極的に参加されますようお願い申し上げます。

大会会長

工藤 善己

大会実行委員長

鈴木 史孝

大会実施要項

主 催：NPO 法人日本躰道協会

後 援（予定）：文部科学省・静岡市教育委員会, 静岡県西部地区躰道協会

開催日時：平成28年7月31日(日)

会 場：静岡市中央体育館

〒400-0856 静岡県静岡市葵区駿府町2-80 TEL 054-255-1010

[電車] J R 東海道本線／新幹線 静岡駅下車 徒歩約20分

J R 東海道本線／新幹線 静岡駅下車 北口バスのりば上足洗線『市民文化会館』
約8分

J R 東海道本線／新幹線 静岡駅下車 北口からタクシーで約10分(約2km)

[車] 東名高速道路 静岡I.C インター通りを北東方向へ約5.5km (約17分)

新東名高速道路 新静岡I.C 安部街道(県道27)を南方向へ約6.5km(約20分)

集合場所：静岡市中央体育館 正面玄関入口前

選手集合：午前7時45分 入館：8時

選手確認：午前8時15分(競技コートにて)

1. 競技種目と出場枠

| 出場種目 | 出場枠 | 出場資格 | 注意事項 |
|------------|-----|-------------|--|
| 男子実戦競技(中学) | 2名 | 上階4級以上 | 面ビット・プロテクター着用厳守 |
| (小学高学年) | 2名 | 原則として中階4級以上 | // |
| 女子実戦競技(中学) | 2名 | 上階4級以上 | // |
| (小学高学年) | 2名 | 原則として中階4級以上 | // |
| 男子法形競技(中学) | 2名 | 上階以上 | 体の法形から自由選択 |
| (小学高学年) | 2名 | 中階以上 | 旋体・運体・変体から自由選択 |
| (小学低学年) | 2名 | 初階以上 | 1.2回戦旋体・運体の法形から自由選択 3回戦以降旋体・運体・変体から自由選択 |
| 女子法形競技(中学) | 2名 | 上階以上 | 陰の法形から自由選択 |

| | | | |
|---------|------|-----------------------|---|
| (小学高学年) | 2名 | 中階以上 | 旋陰・運陰・変陰から自由選択 |
| (小学低学年) | 2名 | 初階以上 | 1. 2回戦旋陰・運陰の法形から自由選択 3回戦以降旋陰・運陰・変陰から自由選択 |
| 団体実戦競技 | 2チーム | 原則として中階4級以上 (男子のみ) | 1チーム5名 (中学生2名・小学生3名) |
| 団合法形競技 | 2チーム | 初階以上 | 1チーム5名 体・陰から自由選択 |
| 展開競技 | 2チーム | 初階以上 | 1チーム6名 背番号制 |

※選手係が点呼を取る時点で集合していない選手・チームは棄権とみなされ出場できませんので注意して下さい。

※少年団体実戦に出場の団体は**出場選手厳守事項⑩**をご覧ください。

☆推薦出場枠

前年度、**同種目**において個人種目ベスト3入賞の選手は出場枠以外に推薦出場出来ます。

☆出場資格の注意事項

- ①小学の部「高学年」「低学年」の区別 ⇒ 「高学年」は小学4～6年生
「低学年」は小学1～3年生
- ②「原則として中階4級以上」 ⇒ 各県地区理事長の推薦がある場合は初階（小学3年生以下）でも可とします。
但し、出場申込時に所定の「理事長推薦書」を必ず提出して下さい。
- ③「団体実戦競技」小・中学の部の特別ルールについて
競技監督の指示に従い、中学生は中学生と対戦、小学生は小学生と対戦する方式で行います。（順番は自由）

☆展開競技・団合法形競技の決勝戦進出について（予選のブロック分けはいたしません）

展開競技・団合法形競技の予選の結果、各々上位4チームが決勝戦進出となります。

☆棄権・ドクターストップについて

別紙『棄権・ドクターストップ・補欠制度に関する通知書』に準じます。ただし、今大会に補欠制度は設けませんのでご注意ください。

実戦競技の競技時間について

各実戦競技の競技時間は下表をご覧ください。

※ 予選競技では延長戦は行いません。

| 戦 競技 | | 回 | 予選 | 3位決定戦・決勝戦 |
|---------|--|------|--------------------------|-----------|
| | | 少年少女 | 男子個人実戦 女子個人実戦 団体実戦 | 1分30秒 |

2. 出場資格と制限

- ① 出場資格：日本剣道協会に所属する会員であることと。また平成28年6月分（第1期）までの協会費が登録時より継続的に支払われていること。
- ② 出場制限：1人2種目（展開競技に出場する場合は3種目も可。）
これに違反した場合は、その該当選手が出場した全種目を失格としますので注意して下さい。

3. 出場申込

- ① 大会種目別出場申込書に必要な事項を記入の上、**平成28年7月3日（日）**までに大会実行委員長宛に提出して下さい。
日本剣道協会 少年少女・高校剣道優勝大会実行委員会 宛
住所：〒164-0011 東京都中野区中央5-38-13 エヌエヌ10 A702
FAX：03-5342-2321 Mail:office@taido.gr.jp
- ② 理事長の推薦が必要な選手については、「理事長推薦書」に必要な事項を記入の上「大会種目別出場申込書」に添付して**平成28年7月3日（日）**までに大会実行委員長宛に提出して下さい。（提出が無い場合は出場できませんので注意して下さい）
※選手の段・級位は申し込み時（**平成28年7月3日**）現在のものとします。

4. 大会出場費

- ① 金額：5,000円（傷害保険料を含む）

※前年度、個人種目ベスト3入賞の推薦出場選手がその種目のみに出場する場合は2,000円とします。但し、他の種目にも出場する場合は上記①の金額となります。

※大会出場費を振り込みの際には弁当代も合わせて振り込むようにしてください。

- ③ 大会出場費は「大会種目別出場申込書」の申込内容に基づいて、各県地区で取りまとめの上、**平成28年7月3日（日）**迄に郵便振替または銀行振込にて納金して下さい。

★郵便振替の場合

00120-0-40646 名義 特定非営利活動法人日本剣道協会

★銀行振込の場合

ゆうちょ銀行 019店 当座 0040646 特定非営利活動法人日本剣道協会

5. 選手変更について

- ① 個人種目出場選手の変更はできません。

- ② 団体種目出場選手の変更は **7月22日(金)**までに「選手変更届」を日本剣道協会事務局まで提出してください。試合中の怪我等も含め当日の変更は一切認められません。
※出場費を支払っていない選手に交代する場合はその分を追加で振り込んで下さい。ただし、当初の出場予定選手との相殺は認めません。またキャンセルの場合の返金はしません。
- ③ 上記以外の選手変更は認めませんので怪我等などしないように注意して下さい。

※競技が始まってから欠場者が発生した場合、団体実戦では該当選手を不戦敗として扱い競技は続行できますが、団体法形・展開は失格となり競技に出場できません。

6. 出場選手厳守事項

- ① 出場選手は「剣道五条訓」を練習しておいて下さい。
- ② 出場選手は大会当日に必ず「健康保険証」(コピー可)を持参して下さい。「健康保険証」なしで治療を受ける場合、医療費の全額支払を求められ多額の出費をすることになりますので注意して下さい。
- ③ 選手は日本剣道協会公認の剣道着を着用して下さい。
- ④ 出場選手は全員、剣道着(背面)に県地区名を記入(例:「青森県」や「東京城西地区」など)したゼッケンを付けて下さい。

大きさ: たて7cm・よこ20cm

布地: 白地に黒文字(漢字)

注意1) 実行委員会が提示した企画以外のものは認めません。

注意2) ゼッケンを付けていない選手の出場は認めません。

注意3) 団体競技のゼッケンの上位置に県地区名のゼッケンを付けて下さい。

- ⑤ 展開競技に出場する選手は剣道着の背面部に背番号(主役=主・旋技=1・運技=2・変技=3・捻技=4・転技=5)を取り付けて下さい。

主役は頭にハチマキを巻いて下さい。

※ ハチマキの色・デザインは自由、幅5cm程度、長さは結んで肩に付かない程度。

※ 背番号は審判員が確認できるように約20cm四方の白布に黒文字。

注意: 剣道着の左右の袖上腕部に団体名・個人名を入れたり、一般的な常識の範囲内のマークを取り付けることは認められていますが、剣道着の背面部に所定の背番号以外のものを付けたり、故意に展開競技の背番号に団体名を入れたり、あるいは左胸上の「剣道」のマークを他の物に変えたり、袖口を短く切ったり捲くったりした場合は出場できません。

- ⑥ 実戦競技に出場する選手は、指定プロテクターおよび面ピットを必ず着用すること。着用しない場合は失格となります。
尚、プロテクターはコートに入場する前に着用して下さい。
- ⑦ 選手は「競技スケジュール」の開始予定時間10分前までに各競技コートへ集合することを原則とし、館内放送があった場合にはその指示に従って集合し、選手係りの点呼を受けてください。

- ⑧ 2種目に出場する選手で、団体と個人が重複する場合は団体を優先させ、団体種目で重複した場合は実戦→法形→展開の順で優先すること。
但し、優先させない種目の選手係にその旨を報告すると共に了解を取ること。
尚、競技が重複していて選手が集まらない場合はその団体は後に回し、選手が集まり次第競技に参加します。
- ⑨ 競技開始前の点呼時に、競技コートにいない場合や重複出場の了解を取っていない場合は棄権と見なされて失格となるので注意して下さい。
- ⑩ 団体実戦競技（少年）に出場する選手は、試合の際、番号と一緒に実行委員会が用意した「小学生」（3名）「中学生」（2名）の札を審判員・選手に見えるよう提示してください。

7. 競技の判定

- ① 日本武藝躰道本院「公認審判員」に審判を依頼し、「審判規定」に則って各競技の判定を行います。
- ② 総合優勝の判定については下記の基準を設けます。
- ※ 1) 得点の計算方法は、各種目の入賞得点を《優勝＝10点・2位＝6点・3位＝3点・4位＝1点》として計算し、各県地区単位で合計得点の高い順に決定します。
- ※ 2) 同得点の場合は《優勝→2位→3位→4位》の順で上位入賞者が多い団体を優先します。
- ※ 3) 「第38回全国少年少女躰道優勝大会」
 《総合優勝》……………総合優勝旗・賞状を贈呈
 《総合第2位》……………賞状を贈呈
 《総合第3位》……………賞状を贈呈
- ③ 特別賞の決定方法と内容については、大会会長・審判審議長・審判長・副審判長の協議によって選出決定します。
- ※ 「第38回全国少年少女躰道優勝大会」
 《最優秀選手賞》……………賞状・楯を贈呈（1名）
 《優秀選手賞》……………賞状・楯を贈呈（2名）

8. その他

- ① 昼食の手配・・・**弁当申込**は、別紙申込書に個数を記入し出場申込書と一緒に提出し、代金（1食（お茶付）700円×注文数）を指定口座に**平成28年7月3日（日）迄**振り込みしてください。
（※選手の分も必要です）
- ② 宿泊の手配……………各団体で手配して頂きます。
 1月に通知いたしました「宿泊先リスト一覧（静岡駅周辺）」をご参照下さい。
 ※大型バス駐車場案内も1月の資料をご参考願います。
 ※体育館施設には一切駐車場はございません。市営駐車場、付近一般駐車場（有料）をご

利用下さい。

③ ゴミ回収について

体育館には、ゴミ箱は一切おいてありません。協会に注文された弁当は、指定された場所に回収していただければ、弁当業者にて回収しますが、それ以外のゴミ（体育館内の自動販売機の飲料含む）は全て各協会を持ち帰ってください。